



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

四年生

九月 第③週



学習を始める前に

①必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具

②注意

- ・大事だと思われるところはノートに書いてください。
- ・このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後のお知らせを見てください。
- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。
- ・必要があるときは、ビデオを止めたり、もう一度ビデオを見たりしてください。

みなさんの中で、駅の自動券売機の表面に、小さい点のうき出たところがあるのに気づいた人はいませんか。よく注意してみると、ゆうびん局や、市役所などの中でも見つかるかもしれません。それは点字といつて、わたしたち目の不自由な者が、指でさぐって読む文字なのです。

点字について、わたしには、こんな思い出があります。

十九さいのとき、わたしは、急に眼を悪くして入院しました。もう回復は望めないと分かってからも、しばらくの間、わたしは点字を覚える気になれませんでした。まだ、新聞の大きな見出しぐらいは読んでいましたし、太いえんぴつで文字を書く練習もしていました。それまで親しんできた文字とはなれることは、まるで心のふるさとを失うように思えたのです。

そんなわたしに、点字を覚えるように働きかけたのは、母でした。母は、いつの間にか点字を習いに通っていたようです。一九四四年の冬のある日、病室にやって来た母は、少しあつめの紙をわたしに手わたして、言いました。

「いつしよに勉強してみようよ。」

母が自分の手で打ってきた北原 白秋の詩を、わたしはわすれることができません。

からまつの林を過^すぎて、

からまつをしみじみと見き。

《新しい漢字》

自動券売機き 不自由ふ 覚えるおぼ 親しむした 失ううしな 通うかよ

点字を指先で読み取るのは、初めのうちはなかなかむずかしいことです。かじかむ指をあたたためあたたため、わたしは、何日もかかって、ようやく一編ぺんの詩を読んだのでした。

勉強し始めてみると、自分で自由に使える文字をもつことが、どんなに楽しく、どんなに大切であるかが分かってきました。読む速さも、練習とともにどんどんまして、点字の図書館から次々に本を借りて読みました。そのうちには、読みたい本がまだ点字になっていないのが、もどかしく感じられるほどになったのでした。

今、世界で使われている点字は、一八二五年、フランスのルイ・ブライユという人が、考え出したものです。日本では、それを五十音に組みかえて使っています。この点字は、たて三点、横二列の六点で一文字が作られています。これらの点を、あるものは打ち出し、あるものは空白にしておく組み合わせで、五十音と、そのほか十種類じゅうしゅの記号ができるのです。さらに、記号と文字とを組み合わせ、数字やローマ字、音符ぶつなどを表すこともできます。盲学校もうがっこうの子どもたちは、これらを使って作られた教科書で学習しています。

知識しきや考え、思いを伝え合うことができるのは、文字のもつ大きなめぐみです。目の不自由な人の中にその文字、点字をもちこんだのは、ルイ・ブライユでした。最近では、わたしたちにもふつうの文字が打てる視覚障害者用ワープロとか、本を読んでくれる機械などが作られています。これからも、人間のちえは、人々の心を結ぶ便利な道具や方法を考え出し、多くの人によるこびをもたらししていくでしょう。

《新しい漢字》

借かりる

種しゅ類

知ち識

機かい械

便べん利

まとめの問題をしましょう。

1. 次の文しようを読んで答えましよう。

今、世界で使われている点字は、一八二五年、フランスのルイ・ブライユという人が、考え出したものです。日本では、それを五十音に組みかえて使っています。この点字は、たて三点、横二列の六点で文字が作られています。これらの点を、あるものは打ち出し、あるものは空白にしておく組み合わせで、五十音と、そのほか十数種類の記号ができるのです。さらに、記号と文字とを組み合わせで、数字やローマ字、音符などを表すこともできます。盲学校の子どもたちは、これらを使って作られた教科書で学習しています。

知識や考え、思いを伝え合うことができるのは、文字のもつ大きなめぐみです。目の不自由な人の中にその文字、点字をもちこんだのは、ルイ・ブライユでした。最近では、わたしたちにもふつうの文字が打てる視覚障害者用ワープロとか、本を読んでもくれる機械などが作られています。

② これからも、人間のちえは、人々の心を結ぶ便利な道具や方法を考え出し、多くの人によるこびをもたらししていくでしよう。

大島健甫「手と心で読む」より

(1) 点字で、記号と文字のを組み合わせによって、さらに何を表せま
すか。三つ書きましよう。

() () () () ()

(2) 一線①「その文字」とは、どんな文字ですか。

(3) 一線②「人々の心を結ぶ便利な道具」には、どんなものがありますか。文章中から2つさがしてください。

() () () () ()

(4) 一線③「多くの人によるこびをもたらししていくでしよう。」とありますが、何が喜びをもたらしますか。

人間の

--	--

まとめの問題をしましょう。

1. 次の文しようを読んで答えましよう。

今、世界で使われている点字は、一八二五年、フランスのルイ・ブライユという人が、考え出したものです。日本では、それを五十音に組みかえて使っています。この点字は、たて三点、横二列の六点で一文字が作られています。これらの点を、あるものは打ち出し、あるものは空白にしておく組み合わせで、五十音と、そのほか十数種類の記号ができるのです。さらに、記号と文字とを組み合わせ、数字やローマ字、音符などを表すこともできます。盲学校の子どもたちは、これらを使って作られた教科書で学習しています。

知識や考え、思いを伝え合うことができるのは、文字のもつ大きなめぐみです。目の不自由な人の中にその文字、点字をもちこんだのは、ルイ・ブライユでした。最近では、わたしたちにもふつうの文字が打てる視覚障害者用ワープロとか、本を読んでもくれる機械などが作られています。

② これからも、人間のちえは、人々の心を結ぶ便利な道具や方法を考え出し、多くの人によるこびをもたらししていくでしよう。

大島健甫「手と心で読む」より

(1) 点字で、記号と文字のを組み合わせによって、さらに何を表せますか。三つ書きましよう。

() (数字) () (ローマ字) () (音符)

(2) ー線①「その文字」とは、どんな文字ですか。

知識や考え、思いを伝え合うことができる文字

(3) ー線②「人々の心を結ぶ便利な道具」には、どんなものがありますか。文章中から2つさがしてください。

() (視覚障害者用ワープロ) () (本を読んでもくれる機械)

(4) ー線③「多くの人によるこびをもたらししていくでしよう。」とありますが、何が喜びをもたらしますか。

人間の

ちえ

2. 「手と心で読む」で筆者の考えとあっているのはどれでしょう。次の3つから選びましょう。

① これからは、点字を使わなくても、さらに、新しく工夫された機械ができるので、それを使って世界のいろいろなことを知りたい。その工夫された機械を使って、自由に読書をしたい。

② これからも、人間のちえは、目の不自由な人のための点字のよ
うな、体の不自由な人もふくめたいいろいろな人々の心をつなぐ便
利な道具や方法を考え出して、たくさんの人々に喜びをもたらし
ていくと思う。

③ これからは、便利な機械がどんどん作られるので、もう点字は
必要なくなる。みんなで頑張って新しい機械を多くしていきたい。

答え



2. 「手と心で読む」で筆者の考えとあっているのはどれでしょう。次の3つから選びましょう。

① これからは、点字を使わなくても、さらに、新しく工夫された機械ができるので、それを使って世界のいろいろなことを知りたい。その工夫された機械を使って、自由に読書をしたい。

② これからも、人間のちえは、目の不自由な人のための点字のよ
うな、体の不自由な人もふくめたいろいろな人々の心をつなぐ便
利な道具や方法を考え出して、たくさんの人々に喜びをもたらし
ていくと思う。

③ これからは、便利な機械がどんどん作られるので、もう点字は
必要なくなる。みんなで頑張って新しい機械を多くしていきたい。

答え

2

課題（もつと知りたいこと）について調べて、作文を書いてみましょう。

1. 次の課題で書いてみましょう。

課題

「どんな所、どんな物に、点字が使われているのでしょうか。」

調べて分かったこと（先週の宿題）を使って書いてください。

〈調べたこと／方法〉

〈例〉

わたしは（ぼく）は、どこに点字が使われているのか調べてみようと思って、インターネットと本で調べました。それから、母に聞いて、実際に点字がある場所に行ってみました。

〈分かったこと〉

〈自分の感想〉

電話機の「5」

中村 和也

ぼくは、身の回りにどんな点字があるか調べようと思いました。そこで、本で調べたり、母にきいたりしました。

点字をさがす中で、おもしろいものを見つけました。それは、点字と同じようにさわってわかるように工夫されているものです。電話機の「5」のボタンの上に小さなでっぱりがあるのです。目の不自由な人は、数字の並び方を覚えて、「5」をたしかめて電話のボタンをおすのだそうです。

「5」についているでっぱりは、本当に小さなものですが、とても大切な役わりをしていることがわかりました。知らない人が多いと思いますが、ぜひ知ってほしいと思います。

発表しましょう。

課題「どんな所、どんな物に、点字が使われているのでしょうか。」について調べ、それをもとに書いた作文を発表しましょう。

知らせたいことが聞き手にうまく伝わるように、発表のときに気を付けることには、どんなことがあるでしょう。

- ① 話の中心になるところを、発表前に確認しておく。
- ② 話のまとめりに、間をとる。特に、段落と段落の間に気を付ける。
- ③ 大事な言葉や文は、ゆっくり、はっきり話す。
- ④ 具体的な写真・絵、資料などを見せながら話す。



2. 自分で課題（もっと知りたいこと）を見つけて、書いてみましょう。作文に関係した写真もさがしてください。

〈課題の例〉

- ① 点字を考えたルイ・ブライヤはどんな人なんだろう？
- ② 耳の不自由な人は、話をするためにどんな言葉を使ってるのだろう？
- ③ 世界中の文字を調べてみたい。
- ④ 多くの人と関わり合うために工夫された道具には、どんなものがあるのか知りたい。
- ⑤ 目の不自由な人に役立つ物は、どのような物があるだろう？

書き終わったら、写真を見せながら、おうちの人に発表してみましよう。

先生に作文を見てもらいたかったら、eメールで送ってください。直して送り返します

宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 音読

「手と心で読む」をもう一度読んで、わからない言葉や筆者が言っていることがよくわからないところがないか、確認しましょう。

2. 作文

- ・ 2つの作文が書き終わっていないときは、書き終えましょう。
 - (1) 「どんな所、どんな物に、点字が使われているのでしょうか。」という課題で書いた作文
 - (2) 自分で課題（もっと知りたいこと）を見つけて書いた作文。
- ・ 自分が書いた作文を読み直してみましよう。字が間違っていたり、直した方が言い文があったりしたら、直しましょう。

先生に作文を見てもらいたかったら、eメールで送ってください。直して送り返します



お知らせ し

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、Webページ <http://JPNCClass.com> を
見てください。
 - ❖ このビデオのスライドもWebページからダウンロードや印刷が
できます。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

四年生

年間学習表



身につけたい力

7月	6月	5月	4月		
	伝言はまちがえずに 伝言をまちがえずに 伝えるために注意す ることをおぼえよう。		三つのお願い 友だちと喧嘩をした 経験や仲直りをして うれしかった経験を 話そう。	1年間の学習を通し て 先生の話聞き、学 習を進めよう。	話す／聞く
伝えたいことを書く う 事実を正確に伝える 記事の書き方を学び、 記事を書こう。	春のうた 春になるとみられる 生き物や草花の、詩 を書こう。	「かむ」こと 二つのまとまりそれ ぞれを、短くまとめ よう。 (要約しよ う。)	手紙を書く 手紙の書き方を覚え て、友だちに手紙を 書こう。	新聞記事 記事の内容をまとめ、 記事に対する自分の 意見を書こう。	書く
伝えたいことを書く う 新聞には、どんな工 夫がされているか知 ろう。	春のうた 場面の様子やかえる の気持ちを想像しな がら読もう。 かえるの気持ちが表 れるように音読しよ う。	「かむ」こと 段落と段落のつなが りに気をつけて 読み、内容をつかも う。	三つのお願い ばめんの様子や物語 に出てくる人の気持 ちを想像して読もう。	新聞記事 子ども新聞を読もう。	読む
いろいろな符号の働 きを知ろう。	ローマ字 ローマ字の書き方や 決まりを知って、 ローマ字で書いてて みよう。	漢字辞典の使い方 漢字辞典の使い方 を知り、実際に使っ て熟語を調べよう。	〈漢字の組み立て〉 漢字を部分に分けて、 部分の名前を覚えよ う。漢字の部分がも つ意味を知ろう。		言葉

12月	11月	10月	9月	8月	
<p>自分の考えを発信しよう 自分がくわしく知りたいことや疑問に思うことを調べて、発信しよう。</p>			<p>伝え合うということ 調べたことを発表する方法について学び、調べたことを発表しよう。</p>		<p>話す／聞く</p>
<p>自分の考えを発信しよう 自分がくわしく知りたいことや疑問に思うことを調べて、新聞の形に書こう。</p> <p>心のつぶやきを言葉に 友だちの詩を参考に、詩を書こう。</p>	<p>アップとルーズ 段落ごとの内容をまとめよう。</p>	<p>一つの花 戦争中と戦争後の場面をくらべて、そのちがいをまとめよう。</p>	<p>伝え合うということ 自分の課題を見つけて、作文を書こう。</p>	<p>本のしょうかい 読んだ本の紹介カードを作ろう。</p> <p>白いぼうし いちばんおもしろいな、すてきだなど思うところ、心に残るところ書こう。</p>	<p>書く</p>
<p>自分の考えを発信しよう 自分がくわしく知りたいことや疑問に思ったことの発信の仕方を知ろう。</p> <p>心のつぶやきを言葉に 友だちの詩を味わおう。</p>	<p>アップとルーズ 段落ごとの内容を読み取り、文章の組み立てをとらえよう。</p>	<p>一つの花 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読もう。</p>	<p>伝え合うということ 「手と心で読む」を読んで、伝え合うことについて考えよう。</p>	<p>白いぼうし 様子や気持ちを表す言葉に注意して、場面の様子をつかもう。</p>	<p>読む</p>
	<p>いろいろな意味をもつ言葉 かなで書くと同じでも、意味のちがう言葉について考えよう。</p>	<p>文と文のつながり 接続後の働きを知り、正しく使えるようにしよう。</p>	<p>にた意味の言葉 にた意味の言葉の違いを知り、ただしくつかえるようになるう。</p>	<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字それぞれの意味と使い方を知ろう。</p>	<p>言葉</p>

	3月	2月	1月	
				話す／聞く
	<p>ごんぎつね 登場人物の気持ちの うつり変わりをもち に、この作品を、自 分で思ったことを、自 分なりにまとめてみ よう。</p>	<p>言葉遊び 自分で言葉遊びを作 ろう。</p>	<p>表やグラフにして 生活にかかわる問題 についてしらべて、 文章にまとめよう。</p>	書く
	<p>ごんぎつね 物語のあらすじをお さえ、場面の様子 想像しよう。 登場人物の気持ちの うつり変わりを読み 取ろう。</p>	<p>言葉遊び いろいろな言葉遊び を知ろう。</p>	<p>表やグラフにして 表やグラフを使った 文章について知ろう。</p>	読む
<p>〈四年生の漢字〉 四年生で習った漢字 の復習をしよう。</p>		<p>漢字しりとり 漢字のしりとりをし て、漢字の読み方や 使い方を覚えよう。</p>	<p>熟語の意味 漢字の訓や漢字の組 み合わせで、熟語の 意味をつかめるよう にしよう。</p>	言葉